



高卒の価値



○入学、進級おめでとうございます

新年度が始まりました。年度の区切りは人が作ったものですが、小さなゴールが1年単位で用意されていることで頑張れることもある気がします。

高校は義務教育と異なり、科目ごとの授業の出席日数が不足すると単位を取得できず、進級や卒業ができなくなります。昨年度の後半は、欠課時数オーバーに神経を尖らせる綱渡りの日々を送った人もいられるかもしれませんが、それもここで一度リセットされます。

さあ、心機一転、前向きな気持ちで頑張りましょう。今年も桜の花は満開でした。これからたくさんの花が次々に見頃を迎える季節になります。進路担当として、みなさん1人1人がよりよい未来(進路)を切り拓けるよう、1年間情報発信していきます。

(1)高卒の価値

学歴別求人数

	求職者数	求人数	求人倍率
中卒	約 364 人	約 1,077 人	約 2.9 倍
高卒	約 127,000 人	約 444,000 人	約 3.5 倍
大卒	約 451,000 人	約 707,000 人	約 1.7 倍



令和4年度「高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職・就職内定状況」より

上の表からわかるように、高卒の求人数が求職者に対して非常に多いことがわかります。良い悪いはでなく、有利か不利かで考えた時、社会で生きていくために少なくとも高卒以上の学歴がある方が安心かつ圧倒的に有利であることは確かです。

(2)卒業までに「強みを創る」



さて、就職や進学面接で必ず質問されるのが「あなたの長所はなんですか？」という問いです。「自己PRをしてください」というパターンもよくあります。さあ、あなたはどのように答えますか？

自分には長所などないなどと悲観する必要はありません。長所つまり強みは作れるものだからです。面接で問われる「長所」は具体的に何が出来るかを知るためのものです。つまり、「私はこのような活動をしてきました。その結果このようなことが出来るようになりました。」と言えるように卒業までに行動しておけばいいだけなのです。

定時制高校から就職する場合に一般的に評価が高いのは、欠席日数が少ないこと(健康管理)、学業とアルバイトの両立、学業成績、検定取得などです。

欠席日数については、最初からより少ないことがベストですが、徐々に欠席を減らせたという経験も価値があります。どのような努力や工夫をして改善したのかを話すことができればそれは弱みでなく強みになるからです。またアルバイトと学業の両立は、「社会で働けること」の証明になるため、定時制高校ならではの強みになります。卒業した先輩の中には、大学生などのアルバイトをまとめるバイトリーダーや研修担当、採用担当まで立派に務めた人も少なくありません。ぜひ、挑戦してみましょう。